

第27回 かたの環境を考える委員会

概要

- ・日時：2011年11月1日（火） 18:30～21:30
- ・場所：交野市役所 別館3階中会議室
- ・テーマ：（全体会）中間発表会について、環境基本計画総合ビジョンについて
（作業班）中間発表会の準備
（グループワーク）発表準備、展示準備、意見交換会準備

進行・内容

18:40 交野市環境保全課長より開会の挨拶。

18:42 全体ガイダンスとロードマップの確認を行った。

中間発表会の展示について、グループごとの展示以外に必要なものについて話し合った。

（出された意見は以下のとおり）

- ・委員全員で笑顔の写真を撮って展示するのはどうか。
- ・毎回の会議の様子がわかる写真を並べるのはどうか。
- ・ロードマップを貼ると会議の流れがわかっていいのではないか。

全体の展示をつくってくれる方がいればお願いすることとなった。

18:50 作業班ごとに中間発表会についての相談。

19:30 作業班からの発表を行い、発表会までのスケジュールを確認した。

19:50 総合ビジョンについて、委員から提出された8つの案について全体で意見交換し、11月14日までに案を考えた人と有志が集まり、気持ちを加えながらまとめ上げて保全課に提出することとなった。

20:30 グループワーク：プロジェクト発表、展示、意見交換会の準備。

21:20 グループよりプロジェクト発表・展示についての発表、全体共有。

エネルギーグループ

そらいけソーラープロジェクトをメインで説明する。発表形式はパワーポイントと一部クイズあり。関西電力と大阪ガスからパネル1枚ずつを展示する。

エコ生活グループ

7つのプロジェクトの5年後を想定して、それぞれのプロジェクトがわかるように劇仕立てで発表する。

まちづくりグループ

舞台上スクリーンの左右にテーブルを設置、メンバー3人と2人に分かれて座り、パワーポイントを用いてビジョンやプロジェクト概要について説明する。特に車に依存せず交通機関を使うプロジェクトを重点的に説明する。展示パネルは1枚横使い。



自然環境保全グループ

後半のグループワークの前段階として、4つのプロジェクトの内容を説明する。プロジェクターで、交野市内の自然の写真を投影しながら説明する。

当日のグループの発表順番を決定し、使用機材の確認をおこなった。

自然環境保全　まちづくり　エネルギー　エコ生活

プロジェクター使用：エネルギー、まちづくり、自然

机・椅子使用：まちづくり（発表時：机2/椅子5）、エネルギー（展示用机1）

21：35　次回の会議は11月14日（月）18：30から21：30

総合ビジョン案の集約は11月11日（金）19：00から

21：40　終了

総合ビジョンについて全体会での議論の詳細

総合ビジョンについて、委員から提出された8つの案について全体で意見交換した。



案1．ビジョンではないが、現状の姿をみてどうしていったらいいかという思いを込めて考えた。

案2．心で考えて書き出した。

案3．みんなが覚えられるように文章を短くした。今まで当たり前にあったものがなくなる恐れがあるので、当り前の状況も書いた。

案4．みんなの交野という言葉が大切にしたい。自然に活かされてきたまちのことを冒頭に書いて、続けていくことができない暮らしになっていることを提起し、交野ではその現状を真剣に考えている人がいるという流れで書いた。

案5．メールで案が出された。(欠席)

案6．交野の現状に触れたいという思いと、まちに感謝したい思いと、これからもずっとこんな交野が続いてほしいという思いをこめて書いた。

案7．前回みなさんから出されたキーワードを使って書いた。市長戦略のなかに「美しい、やさしい、楽しい」が出ているのでふまえて考えた。

案8．空に天の川が見えるくらい、夜は照明が落ちているまちがいいという思いと、交野に感謝したい気持ちで書いた。

(出された意見は以下のとおり)

- ・現状をふまえてこうしたいという思いと、今あるものが大事だという思いが皆さんから出されていた。
- ・ビジョンは誰にでもわかりやすいものでないと説明ができない。
- ・「山ナリエ」の言葉がたくさん入っているが、現状が環境を大事にしたものになっていないので、表現するのは避けてほしい。
- ・未来につなげたい、子どもたちにつなげたいという文言はとてもいいと思う。
- ・自然や人間に配慮するやさしい心や、エコライフをしようとする気持ちをもった人を大事にしようという意味があるのが嬉しい。
- ・人々、動物、植物の循環があり、つながっていることがわかることがいい。
- ・あなたも、私も、君も、という誘いかけの文章を入れて作成するのはどうか。
- ・交野は短歌のまちなのでどこかに和歌を入れたい。

次回までに、案を考えた人たちと有志で集まり、気持ちを加えながら考えていく。

11月14日までにまとめて保全課に提出。

中間発表会について作業班での議論の詳細

資料作成班

- ・ 中間発表会向けの資料をまだ提出できていないグループは、11月2日に環境保全課へ提出（厳守）。次回の会議：11月14日に集約した資料として配布する。
- ・ アンケート：記入者の思いが把握できるようなものにする。
- ・ 表紙：委員の書いたイラストを採用する。
- ・ 11月8日に最終案を作成し、14日までに印刷。発表会3日前まで修正可能。
- ・ プロジェクトシート：「評価の基準」の項目には、定性評価と定量評価の2種類があるが、統一せずグループに任せる。
- ・ 「はじめに」のページ：広報班の作成した趣旨文を採用。
- ・ 「これまでの経緯」のページ：環境保全課で作成。
- ・ 次第：11月26日と12月4日では時間が異なるため、資料班で2回分を作成して印刷。



会場運営班

- ・ 「環境基本計画とは」の説明は市長の挨拶に含み、短縮された時間はビジョンの説明と後半のグループ発表の時間に割り当てる。
- ・ 役割分担を決定
進行責任者、進行補助、各階案内表示取付け者、
機器搬入・設置、照明・音響・機材、受付が決定した。
- ・ 受付係：会場班から1人出ているので、資料班から数名を選出してほしい。
- ・ 11月9日10時から横断幕、次第等の展示物を工作する。



広報班

- ・ 11月16日のチラシ配布人員配置
交野市駅（5人） 郡津駅（4人） 河内森駅（2人）
私市駅（2人） 星田駅（4人） 河内磐船駅（4人）
他班に追加応援のご協力を願う
- ・ メディア対応：依頼文とちらしをFAXとTELで依頼
記者クラブ窓口（市広報課を通じて依頼することになる）
- ・ ポスター掲示：区長会（11月2日）にて依頼し、後日ポスターをお渡しする。
- ・ ちらしとポスター配布：次回11月14日に委員にお願いするので、ポスター希望枚数を、広報担当委員または環境保全課へ依頼する。ポスターの掲示は、各掲示板の設置責任者へ事前に貼りだし許可を得ること。
- ・ その他広報媒体：マイライフ、ぱど、織姫ねっとへの掲載依頼
- ・ 当日のマスコミ対応



グループ議論の詳細

【エネルギーグループ】

1. 中間発表会の発表内容と発表方法について

以下の内容と時間配分で発表することを決定した。(発表時間：15分間)

グループビジョン「自然の恵みを取りいれ、かしこくエネルギーを使うまち」を紹介

グループ課題「自然エネルギーを普及する」「省エネを進める」を紹介

3つのプロジェクト紹介 (ここまでの所要時間：3分)

3択クイズ「ところで自然エネルギーってなに？」(所要時間：3分)

自然エネルギーのそれぞれの特徴の説明と、会場への問いかけ(所要時間：4分)

- ・ 特徴の説明：太陽光発電、風力発電、太陽熱発電、小水力発電(写真4枚提示。)
- ・ 会場への問いかけ：これらの中で交野に1番適しているのは？(自由に答えてもらう)

太陽光発電プロジェクト「そらいけソーラーパネルプロジェクト」の紹介(所要時間：3分)

残り2つのプロジェクト「星のまち エコドライブ」「風を活かすまち」の紹介(所要時間2分)

使用機材：パソコンとプロジェクター。

後半のグループワークでは、委員の実演を交える。



2. その他、確認事項

- ・ 展示：大阪ガス、関西電力から1枚ずつパネルを展示。粗品も用意する。
- ・ 「風を活かすまち」のプロジェクトシートを提出
- ・ 次回11月14日の会議前、17:30に集合して予行練習を行う。

宿題

- ・ の台本作成
- ・ の3択クイズのパワーポイント作成
- ・ の自然エネルギーの特徴説明のパワーポイント作成
- ・ のそらいけソーラーパネルプロジェクトの紹介パワーポイント作成
- ・ の2つのプロジェクト紹介パワーポイント作成

【エコ生活グループ】

1. 発表スタイル：劇仕立て

2. 発表内容

- ・ プロジェクトをすべて劇中に組み込む。
- ・ とかいなかライフプラザでのある日。



- ・プロジェクトが実現している状態（5年後ぐらい）
- ・シナリオは委員が作成。盛り込んでほしいエピソードがある場合は担当委員に連絡。
- ・各登場人物の説明は大きい名札をぶら下げる。
- ・シナリオ例
 - ・委員が生ごみ堆肥化名人として登場
 - ・環境家計簿が3年目を迎えた
 - ・「売ってエコ・・・」プロジェクトの星のまちボトルを小道具として登場させ、会話で説明する。

3. 準備物

展示 パネル2枚、机1台・・・会場運営班準備

展示物 コンポスト、生ごみ堆肥化説明パネル、布草履、鍋帽子、環境家計簿

発表用小道具

登場人物説明用名札、星のまちボトル、その他の小道具は使用者が各自準備
必要機材 マイク2本・・・会場運営班準備

4. 次回

11月14日（月）17時半、中会議室集合

【まちづくりグループ】

資料用プロジェクトシートの精査

既に提出した各シートについて、前波委員より校正の提案があり、最終確認を行った。
修正後のデータは、11月2日に資料班へ送付する。

1. 中間発表会の発表方法と内容、機材について

ステージ上スクリーンの両脇に机2台と椅子5脚を設置し、グループメンバー全員が座って、パワーポイントの画像を用いプロジェクト内容を説明する。

（シーン1）グループビジョンとプロジェクトを考えた経緯の紹介(3分半)

（ビジョン+イメージ図+メンバー名を明記）

（シーン2）全プロジェクトの概要紹介(3分半)

（シーン3）2プロジェクトについて詳細を紹介(6分)

<使用機材・大道具> プロジェクター、スクリーン、PC1台、机2台、椅子5脚

2. 中間発表会の展示について

パネル1枚を横に使い、真ん中にビジョンイメージ、周囲に6つのプロジェクト概要とイメージ写真を配置する。事前にパネルサイズの紙に貼ったものを、当日パネルに貼り付ける。

3. 次回集合日について

展示物作成のため、次回委員会の開始前に集まることとなった。
11月14日(月)16:00～ 市役所別館3階中会議室集合。

宿題：

- ・次回委員会までに、パワーポイントのデータを完成させる。
- ・展示用の写真(A4サイズで出力)を1プロジェクトにつき2枚

以上用意する。

現物またはデータで環境保全課へ。

「自転車を利用しやすいまち交野にしよう」

「かたのの自然、農業、歴史に触れて、子どもの育てやすい環境を」

候補：堀委員の地域の餅つき大会の写真

「住民が主体の利用しやすいバス」



【自然環境保全グループ】

1. 中間案発表会での発表

- ・発表方法は、前回作成したたたき台に沿って考えた。
- ・発表するプロジェクト：作成した4プロジェクトすべて
 - 「里山を知ろう・里山大好きプロジェクト 交野の山を世界の遺産に！」
 - 「里山活動をする人を増やし、里山活動を実践するプロジェクト 交野の山を世界の遺産に！」
 - 「里山の持ち主と活動団体を結ぶプロジェクト 交野の山を世界の遺産に！」
 - 「豊かな川づくりプロジェクト」
- ・発表スタイル：市内の自然の写真を映しながら説明、BGMを使用する可能性あり
- ・使用機材：パソコン、プロジェクタ、(CD機材)
- ・発表者、プロジェクタ操作、(CD操作：未定)、市内の写真撮影(追加)映し出す写真の整理の担当者を決めた。

2. 中間案発表会での展示

- ・模造紙に写真や市内の地図を貼って作成する。
- ・展示物作成
- ・使用するパネルの数：1～2枚(未定)



以上